

議事録

日時	令和7年2月26日(水) 午後4時～午後6時	
場所	河内長野市立市民交流センター 中会議室 AB	
議題	第6回河内長野市未来技術地域実装協議会	
出席者	実装協議会委員	17名(内7名 WEB 出席)
	事務局(河内長野市政策企画課)	4名
資料等	・資料1 来年度以降の取り組みについて ・資料2 河内長野市未来技術社会実装事業成果報告	
議事	1. 開会 ・開会にあたる注意事項 ・河内長野市総合政策部理事より挨拶 2. 確認 ・資料確認 ・協議会出席委員の確認および規約第8条第2項に基づき、委員の過半数以上の出席による会議成立を確認 3. 案件 (1)来年度以降の取組について - 一資料1により説明 (2)河内長野市未来技術社会実装事業 成果報告 - 一資料2により説明 <質疑応答・意見交換> 議事(1):意見1 遠隔診療は、コロナ禍の影響によって導入にあたるガイドライン等が設けられる等、変遷してきた。 診療報酬の棲み分けについては、長期的な課題となり、短期間での制度整備は厳しいと考えるが、with 非 N を進めていくことの課題感を国と共有し、課題解決につなげていければと思う。 議事(1):意見2 医療法改正により、医療 DX に関する各施策も厚労省から出され、今後、遠隔診療は非常に進んでいくと考えている。先進的な事例として実証を進めてほしい。 実証に参加したことは非常に有意義であった。	

議事(2):意見1

地域通貨・生体認証、自動運転については、この 3 年間でいろんな取り組みを重ねており、成果も出ていると思う。それ以上に、ニーズが非常に高いということがわかったということも成果の一つとして挙げられる。

直接的な成果ではない成果も見えてきており、生体認証、自動運転については今回で終わるが、成果も上がりつつ、課題も顕在化したととてもいいチャレンジだったのではないかなと思う。

自動運転については、実は日本中でいろんな類似の実験が行われており、それぞれいろんな良い面・悪い面ある。このような実証実験はどうしても自分たちのやっているところだけの検証になってしまいがちだが、出来ればそういう他の類似のモノとの比較・検証みたいなものも将来のためには必要だと思う。

議事(2)－4:意見1

今後は、自動運転地域コミッティの方で対応していくということで、本会議の関わりは間接的にはなるが、今後も進捗を確認し、関わっていきたいと思っている。

特に自動運転レベル 4 目指した遠隔監視ということだと、技術面や法律の要件など課題がたくさんあるので、意見交換しながら進めていければと考えている。引き続きお願いしたい。

4. 閉会